

開講科目名 / Course	看護学概論	
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 1 学期 / First	
開講区分 / semester offered	1 学期 / First	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	1	
主担当教員 / Main Instructor	秦 さと子	
担当教員名 / Instructor	秦 さと子	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	10	
科目の目的と概要	本講義では、看護を原理的・本質的に理解し、看護を探究し創造する基盤を養うことを目的とする。看護の基盤となる主な概念を学び、看護の対象となる人とその生活を理解するとともに、看護提供のしくみ及び看護専門職の役割・機能について学習する。	
到達目標	1. 看護とは何かについて自分の言葉で述べることができる。 2. 看護の役割や機能について説明できる。 3. 看護の対象にとっての健康と生活との関係について述べることができる。 4. 看護提供のしくみについて説明できる。 5. 看護専門職としての基本的な態度について説明できる。	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ、6.探求心と創造力	
授業計画	01. 看護とは（1）看護の本質、看護の役割と機能 02. 看護の提供者（1）看護の変遷 03. 看護の提供者（2）現在社会における看護、継続教育とキャリア開発 04. 看護の対象の理解（1）統合体としての人間、生活者としての人間 05. 看護の対象の理解（2）健康と生活 06. 看護提供のしくみ（1）看護実践と質保証；看護技術 07. 看護提供のしくみ（2）看護実践と質保証；看護記録、看護研究 08. 看護提供のしくみ（3）医療安全と医療の質保証 09. 看護提供のしくみ（4）看護サービスの提供の場と管理 10. 看護における倫理	
その他の授業の工夫	自分で考え、創造していく力を養うため学生間で話し合ったり、発表する機会を設定する。前回の授業での学びを授業開始時に反復する機会を持つ。さらに当該授業での終わりには、学びを振り返ることで、自分の考えをまとめたり深めることを目的にミニレポートを課す。	
時間外学修	事前学修：授業計画に基づき、テキストや副読本等による事前学習を行うことを推奨する。（5h） 事後学修：指示されたテーマに基づいて、参考書等を用いて記述し提出する（ミニレポート）（14h）。	
評価方法と評価割合	筆記試験（50％）、提出物（40％）、受講態度（10％）で評価する。筆記試験は1回実施する。提出物には、ミニレポートを含み、ミニレポートの内容や提出状況も評価に含まれる。受講態度は、無断欠席や遅刻、居眠り、授業の妨げになるようなおしゃべりは減点とし、発言などの積極性を加点とする。	
テキスト	1. 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[1] 看護学概論（医学書院） 2. 看護覚え書（現代社）	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	秦さと子：病院の看護師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	看護の対象となる多様な人々との関りや看護現場での具体例を示すことで学生の興味を引き、イメージしにくい抽象的学習内容や臨床現場を理解しやすいように工夫する。	